

平成26年鞍手町議会第6回定例会会議録（第3号）						
	平成26年 9月10日					
招集場所	鞍手町役場議事堂					
開閉会日時 及び宣告	開 会 開 議				議 長	
	平成26年 9月10日 午後1時00分				川野高實	
	閉 会 開 議				議 長	
	平成26年 9月10日 午後2時19分				川野高實	
出席及び 欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠 の別	議席 番号	氏 名	出欠 の別
	1	熊井照明	出 欠	11	宇田川 亮	出 欠
	2	須山 由紀生	出 欠	12	岡崎 邦博	出 欠
	3	星 正彦	出 欠	13	栗田 幸則	出 欠
	4	一	出 欠			
	5	田中 二三輝	出 欠			
	6	原 哲也	出 欠			
	7	川野高實	出 欠			
	8	須藤敏夫	出 欠			
	9	久保田正之	出 欠			
出席 12人 欠席 0人 欠員 1人	10	武谷保正	出 欠			
会議録署名 員	6	原 哲也		8	須藤敏夫	

職 出	務 席	議会事務 局長	渡 辺 智 文	出 欠	議会事務 局長補佐	武 谷 朋 視	出 欠
地方自治法 第121条 により説明 出席者の 職氏名		町 長	徳 島 眞 次	出 欠	会計課長	白 石 秀 美	出 欠
		副町長	阿 部 哲	出 欠	建設課長	森 茂 樹	出 欠
		教育長	水 摩 幸 隆	出 欠	政策推進 課 長	三 戸 公 則	出 欠
		総務課長	藤 原 光 徳	出 欠	地域振興 課 長	立 石 一 夫	出 欠
		福祉人権 課 長	守 田 純 子	出 欠	上下水道 課 長	原 敏 勝	出 欠
		税務住民 課 長	久 保 田 隆 一	出 欠	教育課長	筒 井 英 和	出 欠
		農政環境課長 兼農業委員会 事務局 長	篠 原 哲 哉	出 欠	保険健康 課 長	長 友 浩 一	出 欠
議 事 日 程		別 紙 の と お り					
付 議 事 件		別 紙 の と お り					
会 議 経 過		別 紙 の と お り					

平成26年第6回鞍手町議会定例会議事日程

9月10日 午後1時開議

第3号

- | | | |
|-------|--------|---|
| 日程第1 | 議案第54号 | 鞍手町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 |
| 日程第2 | 議案第55号 | 鞍手町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 |
| 日程第3 | 議案第56号 | 鞍手町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 |
| 日程第4 | 議案第57号 | 鞍手町附属機関設置条例の一部を改正する条例 |
| 日程第5 | 議案第58号 | 鞍手町行政財産使用料条例の一部を改正する条例 |
| 日程第6 | 議案第59号 | 鞍手町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 |
| 日程第7 | 議案第60号 | 鞍手町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 |
| 日程第8 | 議案第61号 | 鞍手町営住宅管理条例の一部を改正する条例 |
| 日程第9 | 議案第62号 | 鞍手町若年者専修学校等技能習得資金貸与条例の一部を改正する条例 |
| 日程第10 | 議案第63号 | 鞍手町保育料徴収条例の一部を改正する条例 |
| 日程第11 | 議案第64号 | 平成26年度鞍手町一般会計補正予算（第2号） |
| 日程第12 | 議案第65号 | 平成26年度鞍手町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） |
| 日程第13 | 議案第66号 | 平成26年度鞍手町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） |
| 日程第14 | 議案第67号 | 平成26年度鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） |
| 日程第15 | 議案第68号 | 平成26年度鞍手町泉水団地改良住宅移設事業特別会計補正予算（第1号） |
| 日程第16 | 議案第69号 | 平成25年度鞍手町一般会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第17 | 議案第70号 | 平成25年度鞍手町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第18 | 議案第71号 | 平成25年度鞍手町かんがい施設維持管理運営費特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第19 | 議案第72号 | 平成25年度鞍手町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第20 | 議案第73号 | 平成25年度鞍手町住宅新築資金等特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第21 | 議案第74号 | 平成25年度鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第22 | 議案第75号 | 平成25年度鞍手町谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第23 | 議案第76号 | 平成25年度鞍手町中山西区用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第24 | 議案第77号 | 平成25年度鞍手町泉水団地改良住宅移設事業特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第25 | 議案第78号 | 平成25年度地方独立行政法人くらて病院貸付金特別会計歳入歳出決算認定 |
| 日程第26 | 議案第79号 | 平成25年度鞍手町水道事業会計決算認定 |
| 日程第27 | 議案第80号 | 鞍手町流域関連公共下水道事業 新川処理分区管渠築造工事（第1工区）請負契約の締結 |
| 日程第28 | 議案第81号 | 鞍手町流域関連公共下水道事業 西川処理分区管渠築造工事（第21工区）請負契約の締結 |

平成26年9月10日（第3日）

開議 13時00分

○議長 川野 高實君

これから本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程はお手元に配布のとおりです。

日程第1 議案第54号 鞍手町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例を議題とします。

質疑はありませんか。

熊井照明君。

○1番 熊井 照明君

委員会で聞かれませんのでここでお尋ねしたいのですが、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例が施行されることによって、現在鞍手町で行われている保育事業で変わる点があれば教えて下さい。

○議長 川野 高實君

福祉人権課長。

○福祉人権課長 守田 純子君

お答えいたします。

1点目としましては、この制度は子ども・子育て新制度ということで、来年4月から施行されるようになっております。現行の保育所とどう変わるかというところですが、一番は保育所、幼稚園、認定こども園を通じた共通の給付、これは施設型給付という形と、それから小規模保育所等への給付、地域型保育給付ということで共通の財政支援という形のものが創設されます。

現行の制度では、それぞれ幼稚園では就園奨励費、保育所であれば委託費というような運営費を支弁するような形になっておりますが、これが共通の財政支援が行われるという形になります。以上です。

○議長 川野 高實君

熊井照明君。

○1番 熊井 照明君

保育所に入所する時の手続き等については、従前のままということで変更はないというふうに考えていいのですかね。

○議長 川野 高實君

福祉人権課長。

○福祉人権課長 守田 純子君

お答えいたします。

従前の今まで通りという形ではなくて、これから保育所等を利用される場合には、まず子

どもさん達にとりましては認定区分というものができてきます。認定区分といいますのは、1号から3号までございますが、1号認定という子どもさんにつきましては、これは教育標準時間を認定するということで、今でいう3才以上の幼稚園で教育を希望される場合に1号認定という形になります。

2号認定というものにつきましては、これは保育所の認定になりますが、3才以上の方を2号認定という形になります。3号認定は3才未満の保育所を希望される方が利用されるものになります。

手続きにつきましては、そういった、まず認定をもらって保育所の方に入るという形になってまいりますので、手続き上ではそういった認定をまずもらうというようなところが、今は申し込みますという形のところが変わって来ることになります。以上です。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

宇田川亮君。

○11番 宇田川 亮君

委員会で細かいことは聞きたいのですが、財政支援が共通になるということで、その補助金といいますか、今度交付税措置で国からの支援というか、増額になって来るのでしょうか。その辺をお尋ねしたいのですが。

○議長 川野 高實君

政策推進課長。

○政策推進課長 三戸 公則君

ただいま、この条例の制定に伴いまして財政措置はということですが、現在まだ財政の方でも、その財源についてはまだ処置をしておりません。今後詳細に財源は調べていきたいと思えます。以上です。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第54号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第54号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第2 議案第55号 鞍手町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を議題とします。

質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 55 号は民生産業委員会に付託したいと思います。
ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 55 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 3 議案第 56 号 鞍手町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を議題とします。

質疑ありませんか。

宇田川亮君。

○ 11 番 宇田川 亮君

これまで学童保育を行ってきましたが、この条例を作ることによって、先程と同じような質問ですけれども、変更、拡大されるところ、例えば対象児童が 6 年生までだとかいろいろあると思うのですが、主立ったところの変更点があれば教えて下さい。

○議長 川野 高實君

福祉人権課長。

○福祉人権課長 守田 純子君

お答えいたします。

変更点としましては、今議員がおっしゃたように、今までは 10 才までとなっていたところが、小学校 6 年生までというふうに明確になっております。

今までの学童保育の基準としましては、放課後児童クラブガイドラインというものに則って運営はなされてきておりましたが、この部分につきまして今回この条例を出しておりますが、今度はそういう基準を守るべき基準というふうに変わって来たというところでございます。以上です。

○議長 川野 高實君

宇田川亮君。

○ 11 番 宇田川 亮君

それで、今までガイドラインという形からやってきたのが、今度条例をしっかりと作って、その条例に従って運営をして行くということですので、ということからすれば、町が主体性を持ってやるということになって来るのでしょうか。その辺を町長にお尋ねしたいのですが。

○議長 川野 高實君

町長。

○町長 徳島 眞次君

まだその部分は、今やっていただいております子ども・子育て会議の委員会に今諮ってもらっているところでございますので、今ここで私がどうのこうのするというのはちょっと差し控えたいと思っております。以上でございます。

○議長 川野 高實君

宇田川亮君。

○11番 宇田川 亮君

子ども・子育て会議の中で練られて、この条例案が提案されていると思います。そうすれば、もう練られた後ではないかと思うのです。

来年度からこの条例が施行されるということで、今後また修正もされていく可能性も多々あると思うので、その場合も是非保護者代表だとか、その施設の代表の方の意見を十分に聞いた上で提案させていただきたいというふうに思います。

合わせて、先程と同じようなことですが、これも財政支援が大幅に増えるというふうに聞いているのですが、その点について分かれば教えて下さい。

○議長 川野 高實君

福祉人権課長。

○福祉人権課長 守田 純子君

金額的なものは分からないのですが、この地域子ども・子育て支援事業ということで13程事業があるのですが、これの事業費としまして国、県、町で3分の1ずつの交付金を交付するというような形で今のところ聞いています。以上です。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第56号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第56号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第4 議案第57号 鞍手町附属機関設置条例の一部を改正する条例を議題とします。

質疑はありませんか。

宇田川亮君。

○11番 宇田川 亮君

渡河橋が出来るということで、最初に思い描いたような橋にはアクセスといいますか、鞍手に来る部分がちょっとなかなか厳しいかなという状況にはなっているのですが、これは北九州と結ぶ橋になるわけで、この橋梁名の選定につきましては、鞍手町だけで決めていいということになるのでしょうか。

○議長 川野 高實君

建設課長。

○建設課長 森 茂樹君

お答えいたします。

この橋梁名につきましては、北九州市と鞍手町でお互いに３案を持ち出しまして、その持ち出した６案の中で最適な名前を選定するようになります。以上でございます。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第５７号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。よって議案第５７号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第５ 議案第５８号 鞍手町行政財産使用料条例の一部を改正する条例を議題とします。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第５８号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。よって議案第５８号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第６ 議案第５９号 鞍手町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を議題とします。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第５９号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。よって議案第５９号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第７ 議案第６０号 鞍手町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を議題とします。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 6 0 号は民生産業委員会に付託したいと思います。
ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 6 0 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 8 議案第 6 1 号 鞍手町営住宅管理条例の一部を改正する条例を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 6 1 号は民生産業委員会に付託したいと思います。
ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 6 1 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 9 議案第 6 2 号 鞍手町若年者専修学校等技能習得資金貸与条例の一部を改正する条例を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 6 2 号は総務文教委員会に付託したいと思います。
ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 6 2 号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 1 0 議案第 6 3 号 鞍手町保育料徴収条例の一部を改正する条例を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 6 3 号は民生産業委員会に付託したいと思います。
ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 6 3 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 1 1 議案第 6 4 号 平成 2 6 年度鞍手町一般会計補正予算（第 2 号）を議

題とします。

まず、歳出より質疑をお受けします。

事項別明細書の１７頁をお開き下さい。

１款 議会費及び２款 総務費について、１７頁から１８頁まで質疑はありませんか。

岡崎邦博君。

○１２番 岡崎 邦博君

１８頁、一番上の段に町税過誤納付金７９万円の還付がありますが、この中身を教えてください。

○議長 川野 高實君

税務住民課長。

○税務住民課長 久保田 隆一君

お答えします。

税につきましては、修正申告や地目変更等で税額更正を行うことがあります。その際に過誤納付金が発生し、還付請求権が生まれるわけですが、地方税法に基づいた場合５年でその請求権が消滅します。

それで、その５年を超える分がある場合につきましては、過誤誤りが原因となっているものについては納税者の不利益を補填するため、時効消滅分に当たる分の内、５年分までを限度として還付するものが過誤納付還付金となっております。以上です。

○議長 川野 高實君

岡崎邦博君。

○１２番 岡崎 邦博君

町税ということになっていますけれど、具体的にどういう町税についての措置をなされたのか教えてください。

○議長 川野 高實君

税務住民課長。

○税務住民課長 久保田 隆一君

今回のこの分につきましては、固定資産税の中で住宅用地特例というのがあるのですが、その特例を適用していなかった事案がありましたので、それを修正しまして還付をするものになるものです。以上です。

○議長 川野 高實君

岡崎邦博君。

○１２番 岡崎 邦博君

これは、件数的には１件、何件ですか。

○議長 川野 高實君

税務住民課長。

○税務住民課長 久保田 隆一君

ここに計上しておりますのは1件です。元々当初予算では年間分を100万円付けていただいておりますけれども、それ以外に発生した分がありましたので、今回補正させていただいております。以上です。

○議長 川野 高實君

他に質疑はありませんか。

次に進みます。

3款 民生費及び4款 衛生費について、18頁から21頁まで質疑はありませんか。

宇田川亮君。

○11番 宇田川 亮君

一つ一つ行きます。20頁の民生費の人権推進事業総務費の修繕料及び工事費の中身について教えて下さい。

○議長 川野 高實君

福祉人権課長。

○福祉人権課長 守田 純子君

お答えいたします。

この修繕料につきましては、春日集会場の玄関部分及び玄関部分のひび割れのための修繕料として計上しております。

工事費につきましては、やはり春日集会場の敷地周りのフェンスがかなり腐食して危険な状態になっているということで、このフェンス取り替えの工事費を計上しております。

以上です。

○議長 川野 高實君

宇田川亮君。

○11番 宇田川 亮君

分かりました。

次に、衛生費の予防費です。水痘ワクチン予防接種事業費の追加というふうになっていますが、何件分ぐらい追加されているのかを教えて下さい。

○議長 川野 高實君

保険健康課長。

○保険健康課長 長友 浩一君

お答えします。

今回、10月1日から水ぼうそうの分がありますけれども、件数的には、対象者として463名を対象としております。以上です。

○議長 川野 高實君

宇田川亮君。

○11番 宇田川 亮君

対象の幅といいますか、小学生とか中学生とかというのがあったと思うのですが、それと4

63名というのは、これはほぼ100%そういう形になってくるのですかね。受けられるようになるのでしょうか。

○議長 川野 高實君

保険健康課長。

○保険健康課長 長友 浩一君

まず対象者なんですが、生後12ヵ月から生後36ヵ月に至るまでの間にある乳児です。それともう一つ、これは26年度に限るんですけれども、経過措置としまして生後36ヵ月から生後60ヵ月に至るまでの間にある幼児を対象としておりまして、それが463名います。

この3歳児から4歳児につきましては、その内0.7。というのは、初めてで若干兄弟で打つという関係もありますので0.7。そして1歳児から2歳児につきましては0.9で換算しております。以上です。

○議長 川野 高實君

他に質疑はありませんか。

次に進みます。

5款 労働費から8款 土木費について、21頁から24頁まで質疑ありませんか。

宇田川亮君。

○11番 宇田川 亮君

21頁の緊急雇用創出事業の中身について教えて下さい。

○議長 川野 高實君

地域振興課長。

○地域振興課長 立石 一夫君

お答えいたします。

この中身につきましては、本年6月議会におきまして1,270万、県の配分額を予算措置をしていただきました。これに基づきまして、私どもの方で企画提案方式で事業を募集したところ、地方独立行政法人くらて病院の方から看介護従事者雇用促進事業という提案がありまして、中身を審査し委託するという方向になりました。

本事業につきましては1,270万の内、雇用拡大プロセスというものと、処遇改善プロセスというものがございまして、雇用拡大プロセス920万の枠の中で募集をしておりましたが、くらて病院の方から1,421万2千円で申請があったために、県の方に補助金の増額を申請しましたところ全額、増額の内示をいただいたために差額であります501万2千円を今回補正させていただいております。以上です。

○議長 川野 高實君

宇田川亮君。

○11番 宇田川 亮君

それと24頁の一番上です。住宅管理費で木造戸建て住宅耐震改修促進事業というのがあ

りますが、この中身について教えて下さい。

○議長 川野 高實君

建設課長。

○建設課長 森 茂樹君

お答えいたします。

今回の事業は県事業でございますが、４年前、平成２２年度にも国の補助制度を利用する事業がございました。今回この木造戸建て住宅耐震改修促進事業というのは、県の補助のみで、その費用の一部を補助するということで、この事業は木造戸建て住宅耐震改修工事に要する工事費の２０％に相当する額で、戸建て戸当たり限度額としまして３０万円まで補助するということで、今回３戸分の９０万円を予算計上させていただいております。

以上でございます。

○議長 川野 高實君

宇田川亮君。

○１１番 宇田川 亮君

具体的には、もう申請とかというのがあっているのでしょうか。

○議長 川野 高實君

建設課長。

○建設課長 森 茂樹君

申請は今からでございます。予算を付けていただいた後に各区へのチラシとか、広報、ホームページに掲載して周知を行いたいと考えております。以上でございます。

○議長 川野 高實君

宇田川亮君。

○１１番 宇田川 亮君

これは平成２２年度も行っていたということですので、前からあった事業じゃないのですかね。とすれば、当初予算で載せるべきで、補正予算に何で今頃出て来るのかなというふうに思うのですが。

○議長 川野 高實君

建設課長。

○建設課長 森 茂樹君

平成２２年度は国の補助のみの分でございます。今回の分は県の補助のみの分でございます。県の方から平成２６年度から２年間でございますけれど、町単費を出さなくても県だけで補助しますということで、是非行って下さいという要望がございましたので、今回上げさせていただいております。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

次に進みます。

9 款 消防費及び 10 款 教育費について、24 頁から 26 頁まで質疑ありませんか。
田中二三輝君。

○5 番 田中 二三輝君

教育費の 26 頁、第 6 項 保健体育費の関係なんですが、提案理由の説明の中で文化体育施設の東方擁壁の亀裂発生に伴う工事費だというふうに理解しておりますが、先日現地を見に行ったところ、かなりの亀裂が目についたわけです。

その部分だと思いますが、もう一度工事箇所と現状を把握された時期等について教えて下さい。

○議長 川野 高實君

教育課長。

○教育課長 筒井 英和君

お答えいたします。

まず工事箇所でございますが、文化体育総合施設の北側、鞍心館のある場所、施設で言いますと総合プールの下の方になります。その道路に面しました擁壁に高さ約 4 メートル、幅が 50 メートルの範囲で亀裂が入っております。

その現状につきましては、これは昭和 54 年から始まりました文化体育総合施設事業の際に對外擁壁も建設をしております。その建設の数年経過したところに、当該擁壁に亀裂が生じたことを確認しております。

その後、亀裂部分につきましては簡易補修を行っております。その後は現状を目視で観察した経緯がありますが、大きな損傷は確認をされております。以上でございます。

○議長 川野 高實君

田中二三輝君。

○5 番 田中 二三輝君

そういう早い時期から現状が分かっていて、亀裂の発生等を把握されていたということなんですが、確かに、見た時には簡易的にモルタル等で亀裂部分を埋めたのだらうなというふうに分かる部分もありましたけれども、そこから更に亀裂が進んでいるような部分もありました。

現在に至るまで、その箇所の復旧等を行っていなかったということで、差し迫った大きな危険性はないというふうにご判断されていたのだらうと思いますが、この時期に敢えて復旧するというふうな予算を組まれたのはどういうことなんでしょうか。

○議長 川野 高實君

町長。

○町長 徳島 眞次君

来年中学校が統合して、あそこがちょうど通学路になるのですね。私もずっと町内の通学路の辺りを合間を見ながら見ておりました。

あそこを見ておりましたら、かなりの亀裂がありまして、来年の春からは当然のことなが

らあそこは中学生のメインストリートになると思いますので、もし万が一あれが落ちてきて子ども達が下敷きにでもなったら大変なことになるということで、私の方が担当課の方に指示を出して補正を組んだ次第でございます。以上でございます。

○議長 川野 高實君

田中二三輝君。

○5番 田中 二三輝君

そうしますと、4月開校予定の中学校の通学路の安全確保のために、当該箇所について工事を行うというふうな形の予算だというふうに判断しますが、となりますと、応急的な処置ではなくて本復旧を行うと。

もう一つ、同項目の中に調査設計業務委託料というのも含まれておりますが、これで、あの辺は確か昔池があって地が緩いのではないかなというふうな懸念もありますので、そういったものまでも調査した後に、きちっとしたもので本復旧をするというふうに理解してよろしいですか。

○議長 川野 高實君

教育課長。

○教育課長 筒井 英和君

お答えいたします。

今、田中議員が言われたとおりでございますが、当該の委託料につきましては今申されましたように、以前ここは池の一部であったために、本格的な復旧の工事を実施する必要があります。十分な調査を行いまして完璧な工事を行いますための設計委託料として組みさせていただいております。以上でございます。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

これで歳出を終わります。

次に、歳入に入ります。

13頁をお開き下さい。

歳入は一括して質疑をお受けします。

13頁から16頁まで質疑ありませんか。

岡崎邦博君。

○12番 岡崎 邦博君

13頁の土木事業社会資本整備総合交付金の3,300万減額となっておりますが、その理由についてお願いします。

○議長 川野 高實君

建設課長。

○建設課長 森 茂樹君

お答えいたします。

当初は平成26年度の社会資本整備総合交付金としまして、国に対しまして総額1億1,796万円の予算要望を行っていましたが、交付決定額が決まりまして8,413万8千円でしたので、今回3,382万2千円を減額させていただいております。

以上です。

○議長 川野 高實君

岡崎邦博君。

○12番 岡崎 邦博君

今度は別に16頁です。

町債のところで中学校の屋外附属施設と運動場の整備、また常備消防が過疎債に認められたということでここは減額と過疎債が増額になっていると思うのですが、これらのものについては、当初から過疎債の適用を見込んで過疎債として認められたものを出していたのですが、総額抑制されたということから、これは別のものにしていただけなのか、今回初めて過疎債に認められたためにこれが過疎債として付いたのか、その辺をお尋ねします。

○議長 川野 高實君

政策推進課長。

○政策推進課長 三戸 公則君

お答えいたします。

まず、今回過疎債の件につきましては、過疎法が改正になりまして過疎対策事業債の対象事業として、これまでは対象とならなかった新中学校の多目的グラウンド、それから野球場及びテニスコートの整備等に掛かる分については、教育債の方から過疎債の方に組み替えております。

また、消防の救急デジタル防災無線につきましては、これは過疎債の方で計上してございましたけれども、この分については全く条件の同じ緊急防災・減災債の方に振り替えたという内容になっています。以上です。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

これで歳入を終わります。

それでは歳入歳出全般について質疑ありませんか。

岡崎邦博君。

○12番 岡崎 邦博君

30頁の地方債についてですが、26年度の過疎債も含めて12億ほど増えています。それで26年度末で84億3,300万ということで、鞍手町にとってはかなり大きな額を起債することとなっています。

この返済計画についてどのような計画を立てているのか、また一番ピーク時が何年で、何億ぐらいの返済になるのかをお尋ねします。

○議長 川野 高實君

政策推進課長。

○政策推進課長 三戸 公則君

お答えいたします。

地方債の発行につきましては、いま岡崎議員が申されましたように本年度の末で84億3,300万を予定しております。

今後の発行計画としましては、今後来年度につきましては小学校の体育館の耐震工事等が予定されていますのでそのような事業費等も含めると、まだあくまでも試算の段階ですが、27年度については過疎債の発行の予定としましては6億前後をいま見込んでおります。

今後、過疎地域に指定されます平成32年度までの今後について、今後の計画等もございますけれども、あくまでも試算という形で28年度以降3億程度の発行を予定した場合で試算をしています。その中で今後償還等も行われて、最終的にいまシミュレーションの中では平成32年度の地方債残高につきましては75億8千万円程度が地方債のシミュレーションでは今計画でおります。

ピーク時につきましては、今持っている32年度までの計画の中では、あくまでもピークは平成32年度という形になっております。以上でございます。

○議長 川野 高實君

岡崎邦博君。

○12番 岡崎 邦博君

毎年度の大体返済額というのも出ていると思うのですが、32年度がピークということであれば、そこ前後3年から5年ぐらいはかなり高水準の返済額になるのではないかなと思うのですが、その単年度当たりの返済額が分かればお答え下さい。

○議長 川野 高實君

政策推進課長。

○政策推進課長 三戸 公則君

お答えいたします。

一応今のシミュレーションで試算しますと、平成26年度の元利償還金につきましては約5億7,500万程度。

それから、それがずっと推移しまして、平成32年度の元利償還につきましては8億5,700万ぐらいが今試算としてはあっています。

ただ、この中には過疎債ですので交付税として70%措置されますので、要は単費の持出分としましては平成26年度の見込みが今3億1,700万程度が、平成32年度には3億3千万程度という試算になっております。

償還額はかなり増えますけれども、単費の持出につきましては若干増というふうに見込んでおります。以上です。

○12番 岡崎 邦博君

前後30年ぐらいから何年かは。

○政策推進課長 三戸 公則君

一応あくまでも試算という形で元利償還金につきましては、まず平成26年度が約5億7,500万円、平成27年度が5億5,600万円、平成28年度が6億3,200万円、平成29年度が6億9,900万円、平成30年度が7億8,500万円、平成31年度が8億3,800万円、そして平成32年度が8億5,700万円程度。

それに対します一般会計財源の持出分につきましては、平成26年度が3億1,800万円、平成27年度が2億8,800万円、平成28年度が3億800万円、平成29年度が3億2,100万円、平成30年度が3億3,800万円、平成31年度が3億4,300万円、平成32年度が3億3千万という試算をしています。以上です。

○議長 川野 高實君

岡崎邦博君。

○12番 岡崎 邦博君

元利償還分は8億を超える年が31年と32年ということですし、一般会計からの持出分でも3億円を超える年度がずっと続くということになります。

直ぐこれが地方交付税に跳ね返って来る分が、これは必ず毎年同じ額、要するに返ってくるのかどうかというのをはっきり分からないところがあるのです。必ず、例えば26年度に12億使いましたと、3年をおいて、その後にその分70%分が入って来るとははっきり決まっているのですか。限らないと思うのです。

入ってくるのは入ってくるのでしょうけど、それが10年の償還の間に必ず全額が来るといふふうになっているかどうか分からないと思うのですが、その辺はどうなんですか。

○議長 川野 高實君

政策推進課長。

○政策推進課長 三戸 公則君

この元利償還金の地方交付税の部分につきましては、これはあくまでも基準財政需要額に算入されるという形になっておりますので、この数字、国から来る70%分につきましては、確実にこれは基準財政需要額に反映されます。

ただ、地方交付税の交付となりますと、これは基準財政収入額との関係がありますので、需要額がたしかに今回元利償還金で増えて来ると思います。ただ、基準財政収入額も税が増えたりすると、ここの交付税がここ近年20億前後で、昨年が20億1千万円程度だったと思うのですが、これが本年度19億9千万、20億を切っています。

その理由としましては、やはり基準財政収入額が増えた関係で交付税が減ったという形にはなっております。

ただご質問で言われるように、需要額にはこの過疎債の分は確実に算入されるようになっています。以上です。

○議長 川野 高實君

岡崎邦博君。

○ 1 2 番 岡崎 邦博君

今後は人口も減ることで、人口が減れば当然グロスとして小さくなりますから、これでまた多少金額も変わってくると思います。

おそらく財政収支のシミュレーションもされていると思いますので、その資料があれば後日で結構ですので、提出していただけるかどうかをお尋ねします。

○議長 川野 高實君

政策推進課長。

○政策推進課長 三戸 公則君

地方債の部分についてのシミュレーションはしておりますので、これは資料としてお渡しすることは可能だと思います。

あくまでもこれはシミュレーションということですので、このシミュレーションにつきましては、例えば臨時財政対策債につきましても、あくまでも今は2億5千万ということで試算をしておりますので、今後これは変わる可能性は十分あるということをご承知いただきたいと思います。以上です。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第64号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第64号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第12 議案第65号 平成26年度鞍手町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第65号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第65号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第13 議案第66号 平成26年度鞍手町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第66号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第66号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第14 議案第67号 平成26年度鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第67号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第67号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第15 議案第68号 平成26年度鞍手町泉水団地改良住宅移設事業特別会計補正予算(第1号)を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第68号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第68号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第16 議案第69号 平成25年度鞍手町一般会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。

只今議題となっています議案第69号は、議長を除く議員11名で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上審査することにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第69号は議長を除く議員11名で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上審査することに決定しました。

これより委員長、副委員長の互選のため、しばらく休憩します。

休憩 13時40分

再開 14時05分

○議長 川野 高實君

会議を再開します。

特別委員会正副委員長の互選の結果を局長より報告いたします。

○議会事務局長 渡邊 智文君

それではご報告いたします。

委員長 久保田正之議員、副委員長 原哲也議員。以上でございます。

○議長 川野 高實君

以上のように決定しました。

次に、日程第17 議案第70号 平成25年度鞍手町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

岡崎邦博君。

○12番 岡崎 邦博君

116頁、歳入歳出差引が25年度で1億9,300万ということになっています。

これは議会でも何度かこのことについては質問もされておりますし、答弁もいただいておりますが、25年度で1億9千万を超える額がはっきりと出ているわけですが、今後国保が県に統一される際には、当然これは町の方で処分をするということになると思います。

年度もあまりなく迫ってきておりますけれども、町長はこの赤字分についてはどのようなお考えかをお尋ねします。

○議長 川野 高實君

町長。

○町長 徳島 眞次君

貴重な意見ありがとうございます。

先だつての議案質疑だったですかで申したかと思いますが、今、うちの町だけでなく福岡県のほぼ全自治体がこれに頭を抱えているような状況で、我々町村会を通じてこれも国に要請しているところであります。

最終的にこれを県で取り扱いとなったときに、県と国がどのような形、まあ自分のところで全部償却して0ベースでみんな統合しようという格好になるのか、もう一つは、健康保険料が今上から下までばらつきがいろいろあります。その辺のばらつきをどこでいくらに決めるのかというところも、まだ正確には決まっておりません。

この辺は、もう少しお時間を頂戴願いたいなと思っております。以上でございます。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 70 号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 70 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 18 議案第 71 号 平成 25 年度鞍手町かんがい施設維持管理運営費特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 71 号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 71 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 19 議案第 72 号 平成 25 年度鞍手町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 72 号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 72 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 20 議案第 73 号 平成 25 年度鞍手町住宅新築資金等特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 73 号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 7 3 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 2 1 議案第 7 4 号 平成 2 5 年度鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 7 4 号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 7 4 号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 2 2 議案第 7 5 号 平成 2 5 年度鞍手町谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 7 5 号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 7 5 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 2 3 議案第 7 6 号 平成 2 5 年度鞍手町中山西区用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 7 6 号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 7 6 号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 2 4 議案第 7 7 号 平成 2 5 年度鞍手町泉水団地改良住宅移設事業特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 77 号は民生産業委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 77 号は民生産業委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 25 議案第 78 号 平成 25 年度地方独立行政法人くらて病院貸付金特別会計歳入歳出決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 78 号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 78 号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 26 議案第 79 号 平成 25 年度鞍手町水道事業会計決算認定を議題とします。

質疑はありませんか。

岡崎邦博君。

○ 12 番 岡崎 邦博君

3 頁の損益計算書ですが、水道事業会計においては、当初予算から赤字予算ということで、最終的にも 25 年度においては 1, 700 万ほどの赤字ということになっています。

ここ数年、連続してこういう形になっていますが、このことについて町長は今後もうこういう予算編成で行かれるおつもりかどうかをお尋ねします。

○ 議長 川野 高實君

町長。

○ 町長 徳島 眞次君

お答えいたします。

今、岡崎議員がおっしゃいますように、損益から見ますと赤字になっています。先だっの一般質問か議案質疑の中でもお答えしたと思いますが、今年の 4 月に消費税が上がりまして、またそれにプラス水道料金を上げるというのは、町民にちょっと負担を掛けすぎではないかなと危惧をいたしております。

また、今の政権が来年の 10 月には消費税が後残り 2% で 10% にするという話も聞き及んでおりますので、今のところはもうちょっと様子を見させていただいて、当然のことなが

らこういう状況ですから、いずれは上げなければ厳しいのかなという思いはいたしておりますが、当面、今年中に上げる云々ということは、今の段階では考えておりません。

以上でございます。

○議長 川野 高實君

岡崎邦博君。

○12番 岡崎 邦博君

まだ当年度の未処分利益余剰金が毎年減って、現在25年度では1億3千万ほどあるというのですが、水道管の老朽管も多く漏水も発生しているように思います。

ここの余剰金をどんどん食いつぶすことが、水道事業会計にとって私はどうかなというふうに懸念をしているところです。

やはり、ここは何処かで決断する時期が必要じゃないかなと、またそういった検討委員会の中でも答申が出されていたのではないかなと思いますが、水道事業の設備投資の関係も含めてもう一度お尋ねしたいと思います。

○議長 川野 高實君

町長。

○町長 徳島 眞次君

お答えいたします。

岡崎議員がおっしゃるとおりだと思います。ですからもう少し、来年度予算編成のうちに、そうですね、もう一度精査をさせていただいて、対処していきたいとそうように思っております。以上でございます。

○議長 川野 高實君

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第79号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第79号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第27 議案第80号 鞍手町流域関連公共下水道事業 新川処理分区管渠築造工事(第1工区)請負契約の締結を議題とします。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第80号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって議案第 80 号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

次に、日程第 28 議案第 81 号 鞍手町流域関連公共下水道事業 西川処理分区管渠築造工事（第 21 工区）請負契約の締結を議題とします。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

只今議題となっています議案第 81 号は総務文教委員会に付託したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。よって議案第 81 号は総務文教委員会に付託することに決定しました。

この際休会についてお諮りいたします。

明日 11 日から 18 日までの 8 日間は委員会審査のため休会としたいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。よって明日 11 日から 18 日までの 8 日間は委員会審査のため休会とします。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれをもって散会します。

散会 14 時 19 分